

宮地山&在自山

(みやじやま・あらじやま)

福岡県福津市

2023年 6月5日

宮地嶽神社からの 宮地山&在自山



展望台に立つ紅白の鳥居。下界は福津市津屋崎町。

本日のコース <全行程 3時間41分>

宮地嶽神社駐車場 10:36 → 宮地嶽神社本殿 10:50 →
宮地山登山口 11:02 → 宮地山山頂 11:24 → 在自山山頂 11:59 →
展望台 12:12(昼食休憩) → 在自山 12:50 → 江戸菖蒲園 13:38 →
宮地嶽神社境内 14:11 → 宮地嶽神社駐車場 14:17

約5年振りにT師匠との山行きとなった。調べてみると、石鎚山と剣山(2018年8月)以来の同行登山である。前は西日本最高峰と標高2位の山だったが、今回は宮地嶽神社の菖蒲まつり観賞とお気楽低山ハイクである。昔話に花が咲いて、超のんびりペースで楽しんだ。



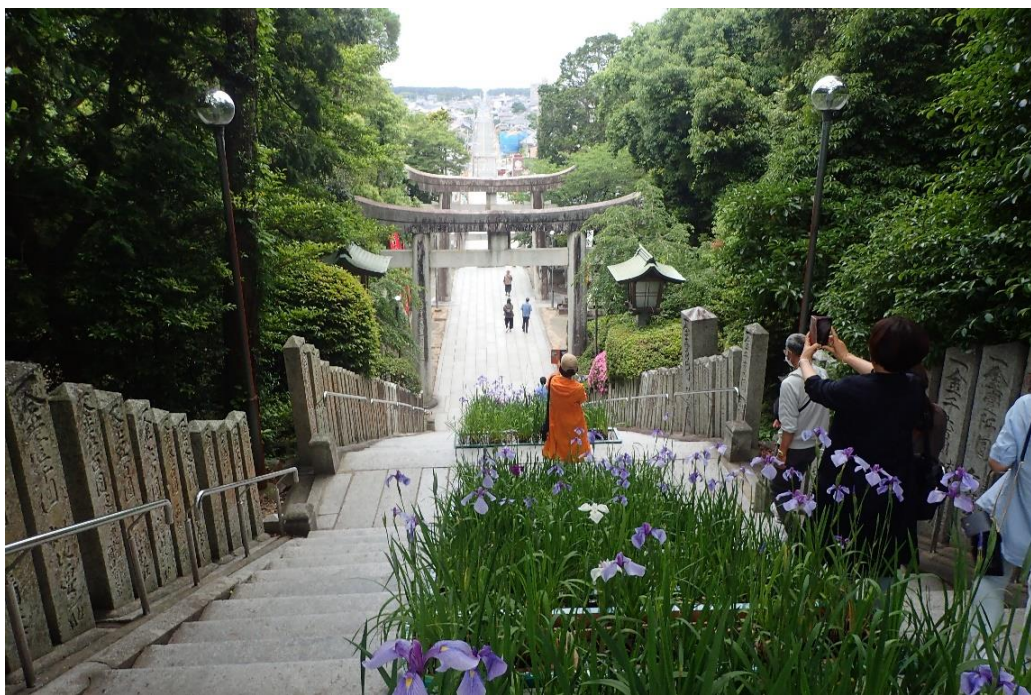
車を宮地嶽神社駐車場(無料)に停めると宮地山が見えている 10:36
山行き準備をしてまずは宮地嶽神社へ参拝。その後、宮地山と在自山を目指す。



駐車場からの裏道を歩いて参道へ 10:42



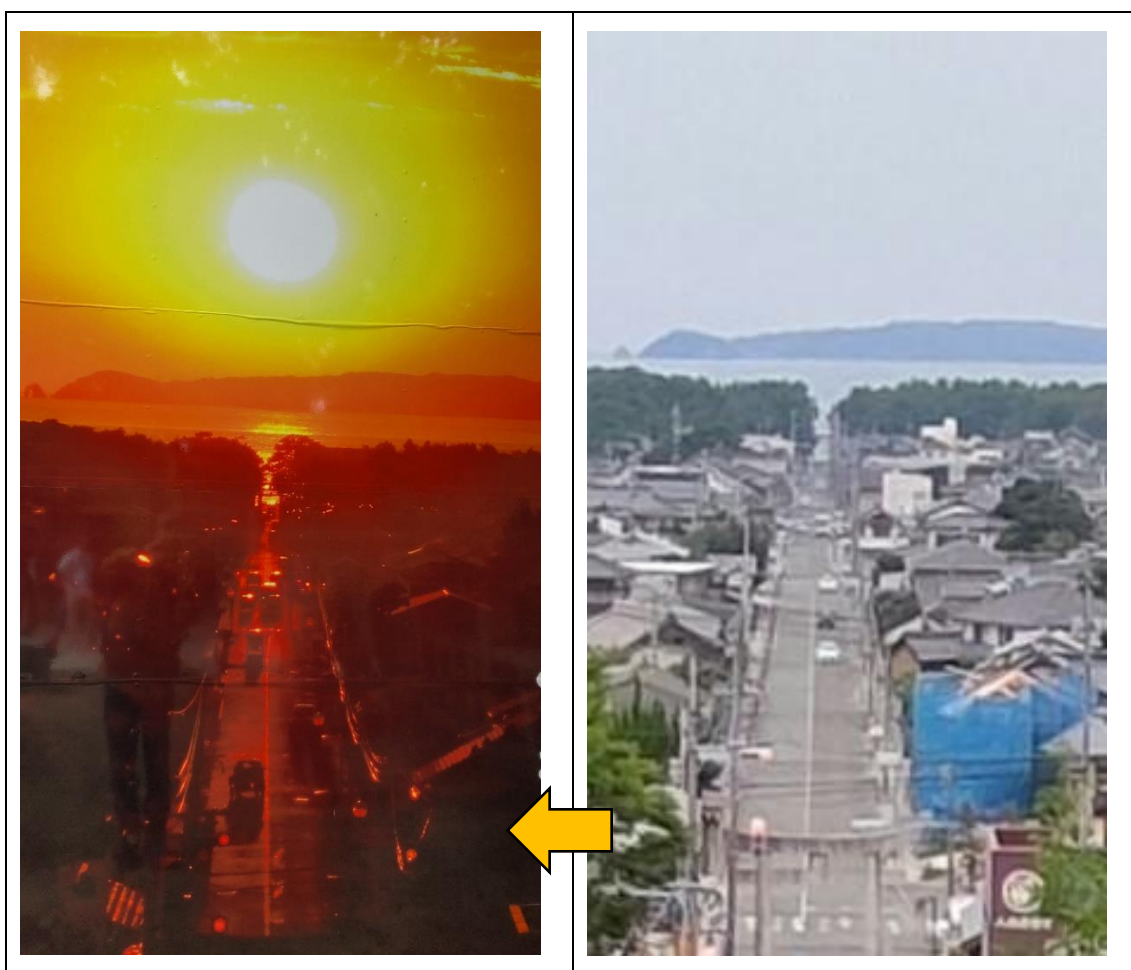
参道に出たら「光の道」の石段を歩いて宮地嶽神社へ 10:43
石段の中央に菖蒲が並べてあり、とても趣のある参道になっている。



石段を上り切って「光の道」を振り返る 10:44
参道が海岸まで一直線



鳥居の横を見ると「光の道」の光景が看板になっている



「光の道」

2016年に「嵐」の5人が出てくる航空会社のCMで人気に火が付いた。神社から海岸を望むと参道が一直線に続いており、年に2回(2月と10月の下旬)だけそこに夕日がつながり、海へと伸びる真っ直ぐな参道が神々しい色合いとなる。これが「光の道」として有名だ。



宮地嶽神社本殿(境内には菖蒲がたくさん飾られている) 10:50



日本一の大注連縄



色とりどりの紫陽花が真っ盛り



この先は「奥宮八社めぐり」 10:55 この分岐を左に進む



ここから登山道となる 11:02



自然歩道が整備されているが、この道が登山道のような。



ウツボグサ



クサイチゴの実



舗装道が続く



イノシシ注意 11:09



舗装道が終り、登山道らしくなってきた



分岐に出逢う 11:21 右に上る



ここから急坂 11:21



山頂も近い 11:23



宮地山山頂 11:24 180m 山頂からの展望はない



宮地嶽神社 古宮の由緒

今を去る1600年前 息長足比亮命(神功皇后)に此の地、宮地嶽山頂に於いて八百万の神々に「天命を奉じて彼の地へ渡らむ 希わくば開運を垂れ給え」と祈願され大陸へ出帆されました。皇后の余りにも有名不可思議な御偉業を称え、ここにご祭神として祀り宮地嶽神社が創建されました。(説明標識より)



宮地山を出発 11:30



先程の分岐に戻り在自山へ 11:35



分岐の足下に道標



竹藪を通り抜ける(道は明確) 11:40



尾根に2本の大きな木 11:42 夫婦のようだった



登山道なのに管理は何故か「うみがめ課」



道幅が狭くなった。注意！ 11:43



見晴の良い場所に飛び出した 11:48 手作りベンチに腰を下ろして休憩



博多方面の海岸線だが霞んでいる



樹間から見えるのは許斐山(このみやま)



休憩中に山ガール三人組が元気よく下山



ノアザミ



在自山(あらじやま)山頂 11:59 249m 展望は少しだけ



在自山山頂碑



この先に展望台があるはずだが...



在自山(天蓋山)の古宮

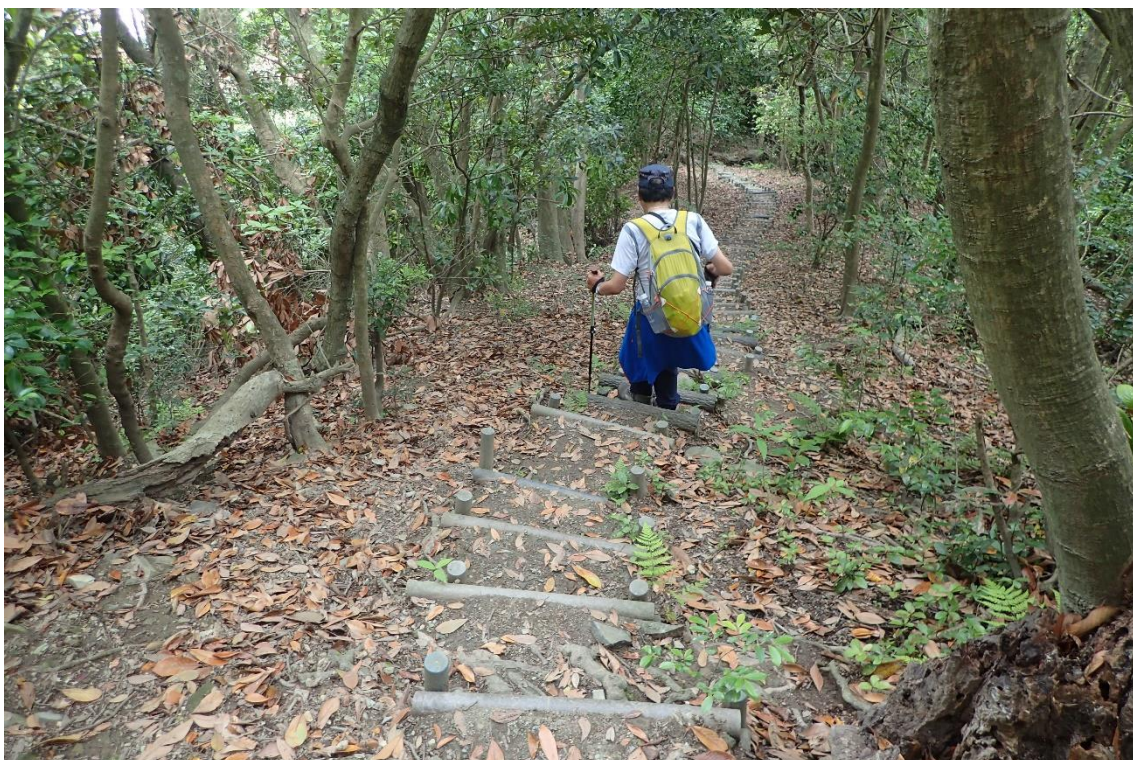


信心深いT師匠はしっかりお参り



鳥居の横に説明板

在自山(あらじやま)の古宮
金毘羅神社の古宮です。
宝永年間(1704—1711)に修験僧元海が
祠を建て、その子大澄が讃岐の金毘羅神社
を勧請したのを、孫の秀関がこの地に移した
と伝えられています。(津屋崎町)
この低山にもいろんな歴史が詰まっている。
祠が建てられた300年前の事は想像がつか
ないが、この在自山は変わらずここにある。



T師匠の先導で展望台への急坂を下る



展望台 12:12 鳥居が二つ立っている
東郷神社が見えた。歴史的な戦い「日本海海戦」の戦場となったのは沖ノ島の近くとの事。
ここからバルチック艦隊も見えたのだろうか？



博多方面の海岸線



福津市津屋崎町方面



風景と紫陽花を見ながら昼食タイム



休憩を終えて往路に戻る 12:43



在自山に戻ってきた 12:50



ここから水落山や対馬見山へも行ける



2脚の椅子を通過 12:55 夏は涼しそう



火の用心(宗像地区消防本部)



宮地山はパスして下る 13:09



舗装道路に戻った 13:24



ヒメジョオン



宮地嶽神社境内裏に戻ってきた 13:34



江戸菖蒲苑(アヤメ科)
九州で唯一の江戸菖蒲苑に大江
戸、小町娘、小紫等約百種五万
株の江戸菖蒲が妍けんを競い楚久と
さわやかに群咲ぐんざいする姿は侍、
町人、姫君、若衆...と大江戸を
行きかう昔の粋な人々の語らい
のようにさえ見える。

見頃五月下旬〜六月中旬

江戸菖蒲苑 13:38



真っ盛り



菖蒲の花言葉は「適合」「勇气」



菖蒲フォトコンテストも行われている



紫陽花も見頃だった

菖蒲と紫陽花をたっぷり観賞して帰路に就く。



猿まわし 14:11



境内



参道(光の道)を下る 14:13



駐車場到着 14:17

T師匠と久しぶりの山行きはあっという間だった。
スマホの歩数計は12332歩。お疲れ様でした。